



ライセンスの管理

このセクションでは、次の点について説明します。

- [ライセンスの管理 \(1 ページ\)](#)

ライセンスの管理

Cisco Prime Collaboration Assurance ライセンスにより、インストールする Cisco Prime Collaboration Assurance アプリケーションのエンドポイント数を有効にできます。エンドポイントの数量に基づいてライセンスを注文することができます。Cisco Prime Collaboration Assurance および Prime Collaboration Provisioning 両方次のページに移動します。[システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)]。

Cisco Prime Collaboration Assurance を Advanced モードのいずれかでインストールできます。

評価モードで追加できるエンドポイントの数は、Assurance の OVA サイズによって異なります。Cisco Prime Collaboration Assurance によって、インベントリに追加したデバイスの数が記録されます。追加可能なデバイスの数が、デバイス許容数に近づくと、警告メッセージが表示されます。システム インベントリで、OVA をアップグレードするか、既存のデバイスをいくつか削除できます。

Cisco Prime Collaboration Assurance の評価期間は 60 日です。評価期間後は、ログインするたびに Assurance によって [ライセンス管理 (License Management)] ページにリダイレクトされます。



(注) 「スマートライセンス」は、Cisco Prime Collaboration Assurance リリース 12.1 でサポートされていません。

Cisco Prime Collaboration Assurance のライセンシング

Cisco Prime Collaboration Assurance ライセンスは、エンドポイントの数量に基づいています。エンドポイント数は、ネットワークを管理するために購入の必要があるライセンス数を決定します。

Cisco Prime Collaboration Assurance は、[[ライセンス管理 \(License Management\)](#)] 次のページで合計エンドポイントのライセンス状態を提供します。[[システム管理 \(System Administration\)](#)] > [[ライセンス管理 \(License Management\)](#)]]。



(注) ソフトフォンが、ハードフォンと同じようにライセンスを消費します。すべてのソフトフォンは、Unified CM に登録されたハードフォンと同じディレクトリ番号を共有している場合でも、1つのライセンスが必要です。

これらのエンドポイントの詳細については、『[Cisco Prime Collaboration Assurance および Analytics のインストールとアップグレードガイド](#)』を参照してください。

Cisco Prime Collaboration Analytics ライセンス

Cisco Prime Collaboration Analytics ライセンスは、必ず Cisco Prime Collaboration Assurance ライセンスの導入後または導入時に適用する必要があります。

Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合

Cisco Prime Collaboration Analytics 機能にアクセスするには、Enterprise モードで Cisco Prime Collaboration Assurance を導入する必要があります。Cisco Prime Collaboration Analytics は、Managed Service Provider (MSP) モードではサポートされていません。

評価モード (60 日) 後に Cisco Prime Collaboration Analytics ダッシュボードにアクセスするには、Cisco Prime Collaboration Analytics のライセンスを購入する必要があります。Cisco Prime Collaboration Assurance と同じスケールライセンスを購入する必要があります。Cisco Prime Collaboration Assurance のライセンスを Advanced モードで追加した後も、引き続き評価モードで Cisco Prime Collaboration Analytics にアクセスできます。

Analytics ライセンス ファイルを追加するには、次のオプションを選択します。[[システム管理 \(System Administration\)](#)] > [[ライセンス管理 \(License Management\)](#)]]。

Analytics ライセンスの追加

Cisco Prime Collaboration Analytics ライセンスは、アシュアランスの合計と同数またはそれ以上にする必要があります。

評価モードでは、Cisco Prime Collaboration Analytics のライセンスは Cisco Prime Collaboration Assurance のライセンスと同じです。

Analytics ライセンス ファイルを追加するには、次のオプションを選択します。[[システム管理 \(System Administration\)](#)] > [[ライセンス管理 \(License Management\)](#)]]。

Cisco Prime Collaboration Analytics の NFR ライセンスの購入は、Cisco Prime Collaboration Assurance ライセンスの購入後にのみ可能になります。

Analytics の有効化と無効化

始める前に

Analytics の機能を有効または無効にするには、Cisco Prime Collaboration Analytics を評価モードにしておく必要があります。

-
- ステップ 1** 選択 [システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)]。
- ステップ 2** Cisco Prime Collaboration Assurance および Analytics の非常に大きい OVA を導入した場合は、リモート Cisco Prime Collaboration Analytics データベースを導入した後で次の手順を実行してください。
- [Analytics] ペインで [Setup Remote Analytics DB] をクリックし、リモート Cisco Prime Collaboration Analytics データベースを設定します。
 - リモートデータベースの IP アドレスを入力して [OK] をクリックします。
- ステップ 3** [Analytics] ペインで [Enable Analytics] をクリックしてデータ分析を有効にします。
- ステップ 4** ブラウザからログアウトし、Cisco Prime Collaboration Assurance Serviceability User Interface にログインします。
- ステップ 5** [Dashboard] をクリックします。
- ステータスとシステムの更新履歴のほか、すべてのプロセスを表示できます。すべてのプロセスを開始および停止することができます。
- ステップ 6** Cisco Prime Collaboration Assurance サーバにログインし、Analytics のライセンスがアクティブかどうかを確認します([システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)])。
- Analytics を無効にする場合は、[Analytics] ペインで [Disable Analytics] をクリックします。無効にした後で、アプリケーションおよびデータベース（非常に大きい OVA の場合のみ）サーバ上のプロセスを再起動する必要があります。分析されたすべてのデータが消去され、[Analyze] タブが無効になります。
-

Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance のライセンス

Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance は、Cisco Prime Collaboration Assurance Advanced 展開でのみサポートされます。Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance ライセンスは、Unified Contact Center Enterprise (Unified CCE) に同時にログインしているエージェント数に基づきます。Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance ライセンスの適用は、Cisco Prime Collaboration Assurance Advanced ライセンスを追加した後に行う必要があります。

Cisco Prime Collaboration Assurance は、Unified Contact Center Enterprise にログインしているエージェント数を 30 分ごとにポーリングします。ログイン中のエージェント数がライセンス ファイルに記載されている許可数を超えると、システムから警告が表示されます。

受信した警告の数がいくつでも、Cisco Prime Collaboration Assurance で生成される違反は 1 日に 1 つです。30 日以内にこのような違反が 10 個出された場合、10 回目の違反を受信した時点から 30 日以内にライセンスが有効期限切れになります。

ライセンス ファイルを Cisco Prime Collaboration Assurance Advanced に追加して Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance に追加しなかった場合、Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance の機能には、ライセンスを購入しない限り評価期限までしかアクセスできません。

ライセンスが期限切れになると、Unified Contact Center のインフラストラクチャ デバイスは、UC パフォーマンス ダッシュボード、[しきい値ルール (Threshold Rules)] ウィンドウ、および[相関ルール (Correlation Rules)] ウィンドウに表示されなくなります。SIP Call Flow Analyzer では、Contact Center デバイス (Unified CCE、CVP) やその他の UC コンポーネントから受信したコール ログを分析できなくなります。Contact Center トポロジ全体のビューも使用できなくなります。

これらの機能を引き続き使用するには、必要な数の Cisco Prime Collaboration Contact Center の同時エージェント ライセンスを購入する必要があります。Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance のライセンスの詳細を表示するには、[システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)] ページで設定しなければなりません。

Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance ライセンスの追加後に拡張される機能の詳細については、『Cisco Prime Collaboration Contact Center Assurance ガイド』を参照してください。

ライセンスの購入後に管理できるエージェントの数は、Evaluation モードの場合と変わりません。詳細については、『Cisco Prime Collaboration Assurance and Analytics インストールおよびアップグレードガイド』の「エンドポイントとコンタクトセンター エージェントの数」の項を参照してください。

【ライセンスのカウンタ (License Count)】

Cisco Prime Collaboration リリース 12.1 以降の場合

エンドポイント ライセンシングは 15 分ごとに実行されます。ライセンス基準に従い、管理されたエンドポイントの合計数が購入したライセンス数を超えることはありません。

- ライセンス基準を満たさない場合、エンドポイントは削除されます。最初に、未登録のエンドポイントが削除されます。
- それでもライセンス基準を満たさない場合、登録済みのエンドポイントが削除されます。

デバイスの検出と管理の詳細については、「[デバイスの検出](#)」を参照してください。追加されていないエンドポイントが検出ジョブにリストされます。

Cisco Prime Collaboration Assurance を MSP モードで導入した場合、IP アドレスが重複する電話機は、異なるエンドポイントとしてカウンタされます。

Cisco Prime Collaboration Assurance のおよびエンドポイント数

次の電話機が、Cisco Prime Collaboration Assurance にカウンタされています。

- ソフト クライアントには、Cisco Unified Personal Communicator、Cisco IP Communicator、Cisco Jabber、Client Services Framework (CSF) があります。

- 携帯電話は別にカウントされます。
- 音声ゲートウェイに接続しているアナログ電話は監視されないため、カウントされません。



(注) システムは各エンドポイントをカウントし、Jabber と IP フォンは別々にカウントされます。

ライセンス詳細の表示

[ライセンス管理 (License Management)] ページ ([システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)] の順に移動) では、次の Cisco Prime Collaboration Assurance ライセンス情報が表示されます。

Cisco Prime Collaboration リリース 11.6 以降の場合

システム情報

- MAC アドレス
- DB サーバ IP アドレス



(注) [DB サーバ IP アドレス (DB server IP Address)] フィールドは、Cisco Prime Collaboration Assurance の特大 OVA 導入モデル固有のものであり、小、中、大の OVA 導入モデルの [Assurance 情報 (Assurance Information)] リンクには表示されません。

Cisco Prime Collaboration リリース 12.1 以降の場合

これは、3 種類のライセンス タイプ (Assurance、Analytics、Contact Center Assurance) であることを意味します。



(注) また、各ライセンス タイプ (アシュアランス、分析、Contact Center Assurance) に割り当てられたライセンス数を追跡することもできます。

ライセンスファイルをアップロードすると、ライセンス数が表示されてプロファイルごとのカウント数を確認でき、これが最大数を超えると、最大数が超えたことを示す警告メッセージが表示されます。メッセージは、ライセンス モードに固有のものであります。



(注) [アシュアランス (Assurance)] および [分析 (analytics)] モードに固有の一般的な警告メッセージ、ならびに Contact Center Assurance モードに固有のメッセージを 1 つ受け取ります。

Assurance ライセンス ステータス

- インストール済みのアクティブなベース ライセンス - 評価またはイメージです。
- 使用済みの合計エンドポイント ライセンス数 - 使用可能な合計ライセンス数と現在使用中のライセンス数です。Advanced モードの合計ライセンス数の詳細については、「「ライセンス数」」セクションを参照してください。
- ライセンスの有効期限 - ライセンスの有効期限が切れる日付です。この値は、Evaluation ライセンスのみに適用されます。



(注) 評価期限が過ぎた後でライセンスを取得すると、[License Expiration Date] の値は [Permanent] に変わります。

- インストール済みの合計エンドポイント ライセンス数 - インストール済みの合計ライセンス数です。

Analytics および Contact Center Assurance のライセンシングでは、次の情報が表示されます。

Enterprise モード	マネージド サービス プロバイダー (MSP) モード
分析 : <ul style="list-style-type: none"> • インストールされているライセンス • ライセンスの有効期限 	Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合 分析 : <ul style="list-style-type: none"> • インストールされているライセンス • ライセンスの有効期限
Contact Center Assurance : <ul style="list-style-type: none"> • インストールされているライセンス • ライセンスの有効期限 	Contact Center Assurance : <ul style="list-style-type: none"> • インストールされているライセンス • ライセンスの有効期限



(注) Contact Center Assurance のライセンシングのライセンス有効期限は、ユーザ インターフェイスにおける Assurance のライセンス ステータスと同じですが、Contact Center Assurance のライセンスの有効期限は、同時にログインする Unified CCE エージェントの数によって変わることがあります。

Cisco Prime Collaboration Assurance にライセンスを登録してライセンス ファイルを取得するには、および『[Cisco Prime Collaboration Assurance および Analytics のインストールとアップグレードガイド](#)』を確認する必要があります。

ライセンス ファイルの追加と削除

実稼働ネットワークでCisco Prime Collaboration Assurance アプリケーションをアクティブ化する場合は、Cisco Prime Collaboration Assurance 任意の数のスケール ライセンスを追加できますが、Cisco Prime Collaboration Assurance に対して、イメージライセンス ファイルは 1 回追加され、個別に追加されます。

Cisco Prime Collaboration Assurance にライセンス ファイルを追加するには、次のようにします。

- ステップ 1** 選択 [システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)]。[License Management] ページが表示されます。
- ステップ 2** [ライセンスファイル (License Files)] の下で [追加 (Add)] をクリックします。[Add License File] ポップアップ ページが表示されます。
- ステップ 3** [Browse] をクリックしてライセンス ファイルをアップロードして [OK] をクリックします。新しく追加されたライセンス ファイル情報は、Cisco Prime Collaboration Assurance の [License Status] ペインに表示されます。

(注) ライセンス ファイルを削除するには、[システム管理 (System Administration)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。[ライセンス管理 (License Management)] ページでライセンス ファイルを選択し、[削除 (Delete)] をクリックします。


評価モードから実稼働にアップグレードする場合は、デバイスの再検出を実行します。デバイスの再検出については、[デバイスの再検出](#)

Cisco Prime Collaboration Assurance で Advanced Evaluation から Advanced (有料ライセンス) に切り替える

Cisco Prime Collaboration Assurance では、Advanced Evaluation から Advanced (有料ライセンス) に切り替えることができます。

次の表には、切り替え時のさまざまなシナリオが示されています。

表 1: Cisco Prime Collaboration Assurance で Advanced Evaluation から Advanced (有料ライセンス) に切り替える

インストール モード	Advanced Evaluation から Advanced (ライセンスを購入)
Cisco Prime Collaboration Assurance	はい。(ユーザ インターフェイスの右上にある [Get Advanced] アイコン  をクリックして [Add Licenses] をクリックします) [License Management] ページで、[Add] をクリックし、Advanced モードのライセンス ファイルをアップロードします。)

